

共生社会深めるイベント

障害者力強く演奏



ガムランを演奏する障害者ら

障害者の楽器演奏を通じて共生社会への理解を深めてもらうイベント「地域共生フェス2019」そこに
ある大地」が12日、福岡市東区の東市民センターで開かれた。
同区で就労継続支援B型

事業所を運営する社会福祉法人「明日へ向かって」や周辺の病院、企業などでつくる実行委員会が初めて開催し、市民ら約500人が来場。知的障害や身体障害

がある同事業所の約30人が、インドネシアの民族音楽「ガムラン」を披露し、銅鑼や鍵盤打楽器で力強く演奏した。
また、ピアノや太鼓を即

興で演奏するダウン症の新人倉壮朗さん(32)(東京)、障害者らにアフリカの楽器の魅力を伝えている久留米市の打楽器奏者・寺崎充史さん(41)との合奏もあった。